

Business Report *2013*

第136期 年次報告書（平成24年12月1日～平成25年11月30日）



HOTEL NEW GRAND

株主の皆様へ

To Our Shareholders



当事業年度における我が国経済の状況を顧みますと、政府の経済政策や日銀の大規模金融緩和策などの効果により円高の是正や株価の回復が進み、企業収益や個人消費の一部にも改善の兆しが表れ、景気の緩やかな回復が見られました。

当ホテル業界におきましても、個人消費の改善により来客数は増加傾向にあり、特に当横浜地区におきましては、3月のみなどみらい線への私鉄5社相互乗入開始により、首都圏に隣接する歴史ある観光地としての位置付けから、来客数は予想以上に好調に推移いたしました。

こうした状況の下、当社におきましては、新たな催事や企画による販路拡大に向けた諸施策の推進、当社伝統料理のメディアへの積極配信等の販売促進を展開し、宿泊・宴会・食事の主要部門の売上確保に全力を注いでまいりました。

また、設備面におきましては、大地震発生時の津波対策として防潮板の設置やLEDを始めとする省エネ設備への更新、また客室及び宴会場における高速無線通信網の整備を図り、ホテルの安全性と利便性の向上に努めました。

一方で、経費面におきましては、原材料の価格上昇等による厳しい環境下ではありましたが、継続した経費削減及

び効率的な経営に努め、収益の確保に邁進いたしました結果、二期連続黒字を計上することが出来ました。

当事業年度の売上高は55億20百万円（前事業年度比3.3%増）、営業利益は1億92百万円（同6.4%減）、経常利益は1億94百万円（同5.6%減）、当期純利益は1億4百万円（同10.4%減）となりました。



代表取締役会長

原 範行



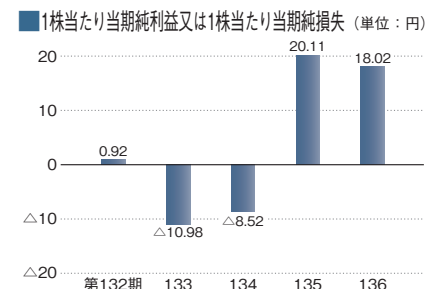
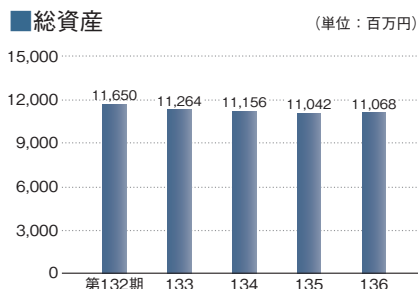
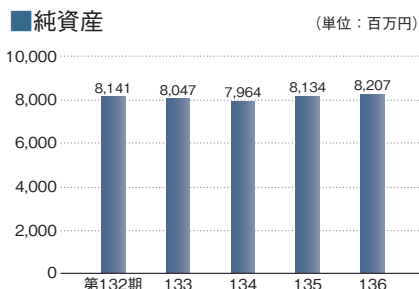
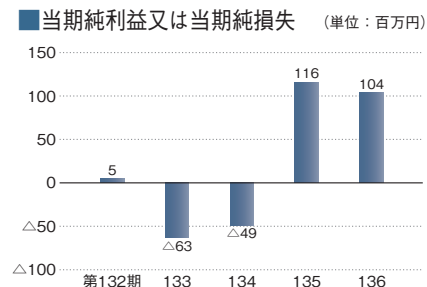
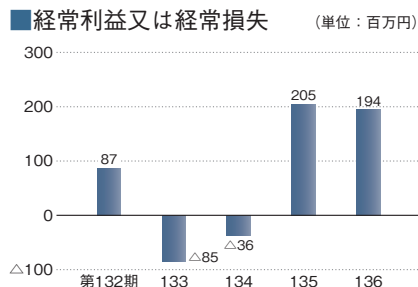
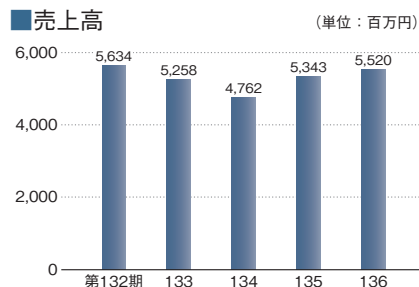
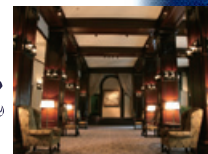
代表取締役社長

濱田 賢治

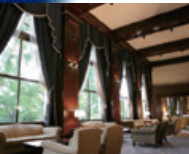


財務ハイライト

Financial Highlights



区分	第132期 (平成21年11月期)	第133期 (平成22年11月期)	第134期 (平成23年11月期)	第135期 (平成24年11月期)	第136期 (平成25年11月期)
売上高(百万円)	5,634	5,258	4,762	5,343	5,520
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	87	△ 85	△ 36	205	194
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	5	△ 63	△ 49	116	104
純資産(百万円)	8,141	8,047	7,964	8,134	8,207
総資産(百万円)	11,650	11,264	11,156	11,042	11,068
1株当たり純資産額(円)	1,400.16	1,384.59	1,370.87	1,400.78	1,413.43
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	0.92	△ 10.98	△ 8.52	20.11	18.02
自己資本比率(%)	69.9	71.4	71.4	73.7	74.1
自己資本当期純利益率(%)	0.1	△ 0.8	△ 0.6	1.5	1.3



事業別概要と今後の課題



Business Review



■ 宿泊部門

客室単価及び稼働率とも前事業年度を上回り、売上高は12億20百万円（前事業年度比8.1%増）となりました。

■ 宴会部門

婚礼件数は前事業年度を下回ったものの、一般宴会の件数が前事業年度を上回り、売上高は23億38百万円（同0.7%増）となりました。

■ 食事部門

3月のみなどみらい線への私鉄5社相互乗入開始に伴い、来客数が増加し、売上高は14億63百万円（同2.9%増）となりました。

この結果、ホテル部門の売上高は52億22百万円（同3.1%増）となりました。また、支店である高島屋横浜店 ルグラン及びそごう横浜店 バー シーガーディアンⅢは増収となり、賃貸ビルのグランドアネックス水町（テナントビル）他は減収となりました。

部門 区 別		売上高	構成比
		千円	%
ホテル	宿泊部門	1,220,736	22.1
	宴会部門	2,338,887	42.4
	食事部門	1,463,856	26.5
	その他の部門	198,619	3.6
ホテル部門合計		5,222,099	94.6
支 店	高島屋横浜店 ル グラン	180,001	3.3
	そごう横浜店 バー シーガーディアンⅢ	62,398	1.1
賃貸ビル	グランドアネックス水町他	56,454	1.0
合 計		5,520,954	100.0

■ 設備投資の状況

当事業年度は総額2億15百万円（うち、資産の取得は建設仮勘定も含めて1億11百万円）の設備投資を行いました。設備投資の主なものは、防潮板の設置（20百万円）、調理機器の更新（18百万円）、電気錠の更新（16百万円）、客室改修及び客室内機器の更新（16百万円）、本館建物の耐震調査費用（14百万円）などです。

■ 対処すべき課題

国内におきましては、更なる景気回復への期待感や2020年東京オリンピック開催決定による高揚感もありますが、外需産業においては、新興国の成長鈍化や国際情勢に対する不安感もあって、まだまだ予断を許さない状況にあります。

かかる状況の下、当社は、引続き地元横浜における地位を確保し、株主の皆様への利益還元に向け競争力を高め、働き甲斐のある職場環境を構築し、事業価値の向上に堅実に努めてまいります。

特に本年は、6月から9月にかけて、当社の重要な経営資源である本館の大規模改修工事を計画しております。これは、歴史的建造物であり文化財としての価値を将来に亘って保存活用することを十分に勘案した上、お客様や地域、周辺観光客の安全・安心の確実な確保とホテル機能向上を図るための改修工事を併せて実施するものです。工事により部分的な本館営業施設の休止も伴いますが、防災及び事業継続の観点から何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、社内体制につきましては、リスク管理とコンプライアンスの一層の徹底を図り、企業の社会的責任を果たしてまいります。

当社を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、86年に亘り着実に積み上げてきた高品質な料理やサービスを基盤として、今後創業100年、200年を見据え、伝統を継承し、発展創造させる施策を実行してまいります。

何卒株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2013.11.30	前事業年度 2012.11.30
(資産の部)		
流動資産	1,823,007	1,612,909
現金及び預金	1,421,709	1,198,303
売掛金	259,128	273,850
料飲材料	38,790	34,638
貯蔵品	45,599	39,754
前払費用	20,314	21,268
繰延税金資産	26,254	34,402
その他	12,020	11,161
貸倒引当金	△810	△470
固定資産	9,245,732	9,429,852
有形固定資産	9,005,767	9,210,759
建物	5,451,831	5,625,851
建物附属設備	403,676	450,709
構築物	18,267	20,120
機械及び装置	5,917	16,569
車両運搬具	4,431	5,903
器具及び備品	104,414	94,757
土地	2,972,803	2,972,803
建設仮勘定	44,424	24,045
無形固定資産	57,912	56,229
借地権	43,734	43,734
その他	14,178	12,495
投資その他の資産	182,052	162,863
投資有価証券	144,405	126,312
差入保証金	10,000	10,000
保険積立金	25,000	25,000
長期前払費用	2,647	1,550
資産合計	11,068,739	11,042,761

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2013.11.30	前事業年度 2012.11.30
(負債の部)		
流動負債	1,056,653	1,165,722
買掛金	396,219	384,450
未払金	105,749	74,814
未払費用	268,338	261,635
未払消費税等	16,908	32,319
未払法人税等	57,500	184,900
未払事業所税	15,723	15,581
前受金	181,136	195,035
預り金	11,984	10,791
ポイント引当金	2,395	2,255
災害損失引当金	150	3,389
その他	548	548
固定負債	1,804,821	1,742,143
預り保証金	271,338	284,778
退職給付引当金	796,697	681,344
役員退職慰労引当金	141,053	130,104
繰延税金負債	9,380	59,564
再評価に係る繰延税金負債	586,351	586,351
負債合計	2,861,474	2,907,865
(純資産の部)		
株主資本	7,683,885	7,623,167
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
資本準備金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	890,264	829,150
利益準備金	66,144	66,144
その他利益剰余金	824,120	763,006
買換資産圧縮積立金	550,853	576,865
繰越利益剰余金	273,267	186,141
自己株式	△24,389	△23,993
評価・換算差額等	523,379	511,728
その他有価証券評価差額金	8,928	△2,722
土地再評価差額金	514,451	514,451
純資産合計	8,207,265	8,134,895
負債・純資産合計	11,068,739	11,042,761

財務諸表

Financial Statements



損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	2012.12.1～ 2013.11.30	2011.12.1～ 2012.11.30
売上高	5,520,954	5,343,208
売上原価	1,762,005	1,734,625
売上総利益	3,758,949	3,608,582
販売費及び一般管理費	3,566,612	3,403,039
営業利益	192,337	205,542
営業外収益	2,201	2,439
営業外費用	225	2,133
経常利益	194,313	205,849
特別利益	—	1,989
特別損失	1,392	4,162
税引前当期純利益	192,921	203,676
法人税、住民税及び事業税	136,729	173,055
法人税等調整額	△48,477	△86,195
当期純利益	104,669	116,816

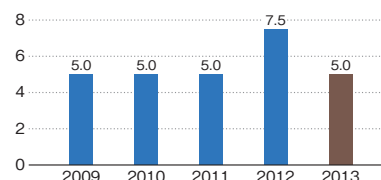
（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■配当金について

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつに位置づけております。このため長期に亘る安定的配当の継続を基本方針とし、節目においては記念配当を実施するなど利益の還元に努めてまいります。

また財務体質のより一層の強化のため、内部留保の充実に努める一方で、施設・設備の充実等将来のための有効投資もしてまいります。

配当金の推移（単位：円）



株主資本等変動計算書 当事業年度（2012.12.1～2013.11.30）

（単位：千円）

	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合 計	
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土 地 再評価 差額金		評価・ 換算 差額等 合計
		資 本 準備金	資 本 剰余金 合計		利 益 準備金	買 換 資 産 任 積 立 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金						
当期首残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	576,865	186,141	829,150	△23,993	7,623,167	△2,722	514,451	511,728	8,134,895
当事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△43,555		△43,555				△43,555
当期純利益							104,669		104,669				104,669
任意積立金の取崩							△26,012		26,012				—
自己株式の取得									△395		△395		△395
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額（純額）											11,651	11,651	11,651
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△26,012	87,125	61,113	△395	60,717	11,651	—	11,651	72,369
当期末残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	550,853	273,267	890,264	△24,389	7,683,885	8,928	514,451	523,379	8,207,265

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式の状況／会社の概要

Stock Information / Corporate Data



株式の状況 (2013年11月30日現在)

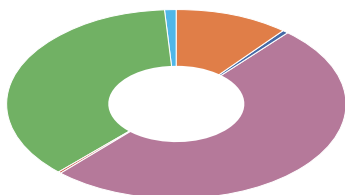
① 発行可能株式総数	23,000,000株
② 発行済株式の総数	5,856,400株
③ 株主数	861名
④ 大株主 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
原 範行	431千株	7.42%
株式会社フォースアンドカンパニー	431	7.42
株式会社横浜銀行	285	4.91
清水建設株式会社	235	4.04
東日本旅客鉄道株式会社	219	3.77
野村弘光	216	3.73
麒麟麦酒株式会社	165	2.84
上野興産株式会社	164	2.83
セコム株式会社	160	2.75
株式会社高島屋	145	2.49

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式 (49,783株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

金融機関	7名	644千株	11.00%
証券会社	7名	3千株	0.05%
その他の法人	89名	2,988千株	51.03%
外国法人等	5名	1千株	0.02%
個人・その他	752名	2,168千株	37.01%
自己株式	1名	49千株	0.85%



会社の概況 (2013年11月30日現在)

創 立	1926年7月6日
創 業	1927年12月1日
資 本 金	34億5,500万円
主 な 事 業 内 容	ホテル経営
従 業 員 数	300名 (内正社員外119名)

取締役及び監査役の状況 (2014年2月27日現在)

代表取締役会長	原 範 行
代表取締役社長	濱 田 賢 治
常 務 取 締 役	吉 田 一 継 (営業部門統括 総支配人)
常 務 取 締 役	里 見 辰 彦 (管理部門統括)
取 締 役	野 村 弘 光
取 締 役	上 野 孝
取 締 役	宇 野 公 博
取 締 役	三 村 智 之
取 締 役	宇佐神 茂 (総料理長)
取 締 役	佐 野 剛 (執行役員宴会部長)
取 締 役	岸 晴 記 (経理部長)
常 勤 監 査 役	小 島 偉 義
監 査 役	勝 治 信
監 査 役	野 村 哲 也
監 査 役	岡 崎 真 雄

(注) 1. 取締役上野 孝、宇野公博、三村智之の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役勝 治信、野村哲也、岡崎真雄の3氏は社外監査役であります。
3. 常勤監査役小島偉義氏は、当社の経理部担当役員として平成19年2月まで通算10年に亘り決算手続ならびに財務諸表の作成に従事しており、財務・会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 代表取締役社長濱田賢治氏は、2013年2月27日開催の当社定時株主総会において新たに取締役に選任され、代表取締役社長に就任いたしました。
5. 当社は、取締役上野 孝氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 1,000株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公 告 掲 載 U R L <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証 券 コ ー ド 9720
- 上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 (JASDAQ市場)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20.315%**（※）の源泉徴収税率が適用されます。
（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
2. 少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>